

令和6年2月9日

各 位

瀬戸信用金庫

アートギャラリー企画展情報
～「瀬戸に魅了された海外作家展
-アーティスト・イン・レジデンス招聘作家による-」開催～

瀬戸信用金庫アートギャラリーにおいて企画展「瀬戸に魅了された海外作家展-アーティスト・イン・レジデンス招聘作家による-」を下記のとおり開催します。

記

1. 企画展開催期間

令和6年2月17日（土）～3月31日（日）

2. 瀬戸信用金庫アートギャラリーについて

(1) 開館時間 10:00～16:00

(2) 休館日 月曜日・火曜日（祝日の場合は翌営業日）

※休館日詳細については下記 URL よりご確認ください。

<https://www.setoshin.co.jp/gallery/>

(3) 入館料 無料

(4) 住 所 愛知県瀬戸市東茨町36番地の11

3. 同時開催

瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展

以 上



「珊瑚礁 椿」
デボラ・アビサンダ・カニサレス



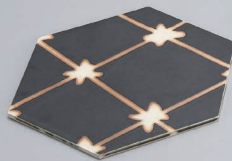
「フローXIII(市民との共同制作作品)」
ラダ・セメツカ



「雪と花(つばき)」
ウラジミール・クライン



「ナウシカ」
アレクサンドロ・ガッロ



「セト・プロジェクト」
マルガレータ・デッブ



「瀬戸のびっくり箱(瀬戸市文化センター)」
ルイーザ・マイゼル



「瀬戸からの手紙」
マーリア・ゲスレル・ガルツリー



「瀬戸物語1」
クリストファー・ジェームス・マックヒュー

瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展

瀬戸に魅了された海外作家展

—アーティスト・イン・レジデンス招聘作家による—

令和6年2月17日(土)～3月31日(日)

開館時間 10:00～16:00

休館日 月曜日・火曜日

※「瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展」は上記休館日以外は常時ご覧いただけます。

※休館日に関しては、HPでもご確認いただけます。

入館料 無料

共催 瀬戸信用金庫、(公財)瀬戸市文化振興財団

協賛 せとしんリース(株)、せとしん信用保証(株)

瀬戸信用金庫アートギャラリー

〒489-0897 愛知県瀬戸市東茨町36番地の11
TEL 0561-82-3100 FAX 0561-82-1619



瀬戸信用金庫アートギャラリー
HP 二次元バーコード

瀬戸に魅力を感じ、約2ヶ月間市内の工房で作品の制作活動を行った海外作家による陶芸・ガラス作品展を開催します。

1000年以上の歴史を誇る「せともの」で有名な瀬戸市は、陶土とともにガラスの原料となる珪砂の産地でもあります。古くから陶芸が行われ、現在でも多くの陶芸家が活動し、また、近隣にはガラスの教育機関があるなど、瀬戸市は陶芸・ガラス制作を行うための環境に恵まれたまちといえます。このような地域の特性を活かし、工芸文化の新たな発展をめざし、2000年から「アーティスト・イン・レジデンス」のプログラムを開催し、これまで50余名の海外作家を招聘してきました。

今回の展覧会では、その中から、8名の作家の作品を展示します。この8名の作家は、それぞれが瀬戸の文化や歴史にインスピレーションを得て作品を制作しました。これらの作品をとおり、作家それぞれの想いととも、瀬戸市の魅力を再発見していただけたらと思います。



マリア・ゲスレル・ガルツリー

ハンガリー／2007年滞在

1941年生まれ。
ブタペスト応用美術大学を卒業し、陶芸家としての学位を取得する。卒業後制作活動をつづけ、ハンガリー陶芸ビエンナーレで最高賞を受賞するなど、母国での活躍のほか、国際陶芸コンペでの大賞受賞を始めとして、国際的な活躍を見せている。また、日本、デンマーク、ハンガリーなどのアーティスト・イン・レジデンスに参加し、各国での制作も行っている。(2007年時点)



ルイーザ・マイゼル

アメリカ／2009年滞在

1959年生まれ。
グラフィックデザイナーとして活動したのちフランスに渡り、陶芸と出会う。
写実的な人物像のほか、子ども時代の思い出やテレビのニュースなどを題材に具体的なモチーフを再構成する「積み上げオブジェ」を制作。国際的なアートフェアに積極的に参加している。(2009年時点)



アレッシンドロ・ガットロ

イタリア／2012年滞在

1974年生まれ。
イタリアのジェノヴァ在住。イタリアのほか、カナダ、オランダ、アメリカ、スペインなどでグループ展を多数開催。2011年には第54回ヴェネツィア・ビエンナーレのイタリアのパヴィリオンに作品「メトロ」を出品するなど、国際的に活躍している。(2012年時点)



ウラジミール・クライン

チェコ／2012年滞在

1950年生まれ。
チェコのノヴィ・ボル在住。チェコでガラスを学び、教職に就く。1991年から富山ガラス造形研究所の教授を務め、国内でも展覧会を開催。作品は、チェコ、ドイツ、日本などの美術館に多数所蔵されている。トルコ、ベルギー、ドイツなど各国で教鞭を執りながら作品発表を続けている。(2012年時点)



マルガレータ・デップ

スイス／2013年滞在

1959年生まれ。
スイスのベルン在住。スイス、ドイツ、フランス、ベルギーなどで展覧会を開催。
日本をはじめ、中国やトルコでも滞在制作を経験するなど国際的に活躍している。ジュネーヴで教鞭を執りながら制作を続けている。(2013年時点)



ラダ・セメツカ

チェコ／2015年滞在

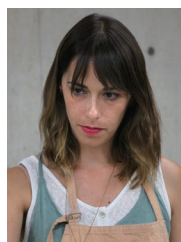
1973年生まれ。
チェコのテプリツェ在住。2008年から富山ガラス造形研究所の准教授を務め、国内を始め、イギリス、アメリカ、デンマークなど海外でも展覧会を多数開催。チェコ、ドイツ、アメリカ、日本などの美術機関に作品が収蔵されており、その名声を高めている。(2015年時点)



クリストファー・ジェームス・マックヒュー

イギリス／2015年滞在

1976年生まれ。
イギリスのライオン在住。日本で英語講師として働く経験をもつ。日本政府(文部科学省)奨学金留学生として京都大学へ留学。イギリス、韓国、日本などでグループ展、個展を開催するほか、滞在制作にも参加している。サンダーランド大学研究アシスタントとして活動している。(2015年時点)



デボラ・アビスアンダ・カニサレス

スペイン／2019年滞在

1982年生まれ。
モンクロー陶芸学校卒業後、陶芸家として道を進み、マドリッドで個展を開催するなど、積極的に制作活動に励んでいる。アール・ヌーヴォーや日本の芸術、北欧デザインからインスピレーションを得ながら、独自の技法により、独創的な作品を仕上げていく。磁器土の白さや透明性に魅了され、磁器をベースにしながらもガラスなどの異素材を組み合わせるなど、あたらしい試みに挑戦している。(2019年時点)

同時開催

常設展示

「瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展」
当館1Fコレクション展示コーナー

次回展覧会

企画展

「瀬戸の橋ー橋を彩る作家達ー」
令和6年4月6日(土)～5月12日(日)

交通案内

【公共機関でのアクセス】

■電車 名古屋駅から(所要約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車、徒歩15分。

■バス 瀬戸駅前(尾張瀬戸駅北側バスロータリー)から(所要時間約5分)
名鉄バス菱野団地行「瀬戸駅前」から「陶栄町」下車、徒歩スグ

【お車でアクセス】

■長久手I.C.から(所要約30分)
東名高速道路「長久手I.C.」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草I.C.」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。

■せと赤津I.C.から(所要約10分)
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」を降りて瀬戸市街地へ。

※駐車場:無料(18台)

